

私の魔法



先日、子供がお友達の家で夕飯をごちそうになり、後日ママ友であるAちゃんママに電話すると、こんなことを言われた。「私、感動しちゃった。ゆみちゃんに、何が好き？と尋ねたら、『私、ママのラタトゥウとハンバーグ』って言われてちゃって。・・・我が家のメニューにラタトゥウなんてないもの。うちの子なんてその料理すら知らなかったのよ。すごい！そんなおしゃれなもの作っているなんて。」

電話を切ったあと、思わず笑ってしまいました。正直嬉しかった。この私が料理で人から褒められる日がやってこようとは・・・。大学時代、学食やコンビニ、ファーストフード頼り、自炊など殆どせずに過ごしてしまい、結婚しても学生のときからの付き合いだった夫に甘えつついつい料理することをなあなあにしてきた私にとって、まさに子どもがあらゆることの一番の転機となった。要領も悪ければ、腕もセンスもない、時間もない・・・ないものづくしの私だったが、思いばかりはいっぱい。

「もっと笑っていてほしい」「かわいい寝顔を見せていてほしい」「残さずいっぱい食べて大きくなってほしい」「好き嫌がなく、野菜好きになってほしい」「体に良いものを食べ、それがわかる舌のまま成長してほしい」あふれる思いに押し潰されまいと、気がつけば、いろんな情報を探し、できることはとてあえず試す・・・毎日がそんなちょっとしたチャレンジ。それがこんな嬉しいことになるなんて！

でも、それにもまして嬉しかったのは、日々のこんなスピードごはんにも、子どもは満足してくれているように思えたことだった。笑顔を天使に思えた頃からすると、ときに本気で怒りまくってしまうこともあるけれど、でもやはり、私の最高の宝物。

正直、料理など、真面目な専業主婦であった母と比べると、昨今の日々進化している優れた食品＝魔法にサポートされ、申し訳ないほど省力化している。化学調味料など使わず作ってはいるものの、褒められてちょっと気まずいくらいだ。でもまあよしとしたい。子供は今日も笑顔でここにこうしていてくれるのだから・・・